

- 問1 東北地方では、各県の気候や地形条件を活かして特定の農産物を重点的に生産する農業が盛んです。青森県のりんご、山形県のさくらんぼ、福島県の桃などの生産がその代表例ですが、このような農業の特色について述べた説明として正しいものはどれですか。 （2020年 福島県公立入試 類似）
1. すべての県が同じ種類の野菜を均等に生産することで、東北地方全体での市場価格の安定を図っている。

2. 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。

3. 広大な平野部を利用し、果樹よりも稲作の面積割合をすべての県で一律に高める政策がとられている。

4. 冷害の影響を避けるために、東北全域の農地において米から麦類への転換が一斉に進められた。
- 問2 秋田県の人口構成において、15歳から64歳の生産年齢人口の割合が他県に比べて低く、65歳以上の人口割合が約40%という高い水準にある状況を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。 （2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 情報化社会

2. ドーナツ化現象

3. 過密化

4. 少子高齢化
- 問3 日本の各県の農業生産額を比較した資料において、ある県（ア）は米の生産が中心であるのに対し、別の県（イ）では米が216億円、野菜が366億円、畜産が454億円という生産額を示していました。この県（イ）と比較した際の、秋田県の農業生産の特徴として正しい説明を選びなさい。 （2019年 秋田県公立入試 類似）
1. 県（イ）のような畜産中心の構造とは異なり、秋田県では米の生産額が農業生産の大部分を占めている。

2. 県（イ）と同様に、秋田県においても畜産が最大の生産額を誇り、次いで野菜、米の順に生産額が多くなっている。

3. 県（イ）は果実の生産が全くないが、秋田県はりんごを中心とした果実の生産額が畜産の生産額を常に上回っている。

4. 県（イ）のような多様な品目の生産は行わず、秋田県では100%すべての農地で米のみを栽培している。
- 問4 岩手県の南部鉄器のように、100年以上の歴史があり、熟練した技術によって主に手作業で作られ、経済産業大臣によって指定される工芸品を何と呼びますか。その制度の名称として適切なものを選びなさい。 （2022年 徳島県公立入試 類似）
1. 世界文化遺産

2. 重要無形文化財

3. 伝統的工芸品

4. 地域団体商標
- 問5 青森県の産業構造について述べた次の記述のうち、正しいものはどれですか。 （2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 漁業生産量と果実産出額が共に全国五位以内という高い水準にあり、国内貨物海上輸送量も東北地方で二番目に多い。

2. 漁業生産量は全国トップクラスであるが、果実産出額は東北地方の中でも低く、一次産業の偏りが大きい。

3. 果実の産出額は全国上位五位以内であるが、漁業生産量は全国平均を下回っており、海上輸送より陸上輸送が中心である。

4. 国内貨物海上輸送量は東北地方で最も多いが、農産物の産出額は全国的に見て低い水準に留まっている。
- 問6 日本の諸地域における「畜産」「米」「野菜」の農業生産額の割合を比較した統計において、他の地域と比較して「米」の占める割合が圧倒的に高く、生産額全体の半分以上を占めている地域として最も適切なものはどれですか。 （2016年 秋田県公立入試 類似）
1. 中国・四国地方

2. 関東地方

3. 東北地方

4. 中部地方
- 問7 青森県のりんご栽培において、長期間にわたって鮮度を保ち、収穫時期以外の時期にも安定して出荷できるようにするための工夫として、最も適切な説明を選びなさい。 （2018年 富山県公立入試 類似）
1. 収穫後の傷みを防ぐため、水分をすべて飛ばした乾燥果実（ドライフルーツ）の状態でのみ全国へ出荷する。

2. 収穫時期をずらすために、標高の高い山地から低地まで、あらゆる高度の土地で一斉に同じ品種を栽培する。

3. 夏の冷たく湿った風である「やませ」による被害を防ぐため、すべての果樹園を巨大な温室で覆って栽培する。

4. 酸素や二酸化炭素の濃度、温度を調節する「CA貯蔵」という技術を用いて、果実の呼吸を抑えて保存する。
- 問8 福島県の沿岸部におけるエネルギー供給の歴史と、社会への影響について述べた文として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 （2022年 愛知県公立入試 類似）
1. 東日本大震災の発生により、関東地方への電力供給を維持するために、県内の全域で太陽光発電パネルの設置が法律で義務付けられた。

2. 広大な県土を流れる河川を利用した水力発電が主力であり、その電力は主に県内の電気機械工業の工場で消費されている。

3. 2008年から2018年にかけて海面漁業従事者が減少したのは、沿岸部のすべての漁港が火力発電所の建設用地として転用されたためである。

4. 沿岸部には原子力発電所が立地し、東日本大震災以前は首都圏である関東地方へ多くの電力を供給する重要な拠点となっていた。
- 問9 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器について、その生産地や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2023年 大阪府公立入試 類似）
1. 弘前市を中心に生産され、何層にも塗り重ねられた漆の模様が特徴である。

2. 盛岡市や奥州市で生産され、鉄瓶や茶道具などの日用品として広く知られている。

3. 会津若松市で生産され、金粉や銀粉で装飾を施す蒔絵の技法が有名である。

4. 天童市で生産され、良質なツゲの木を加工して作られる駒が全国的なシェアを誇る。
- 問10 東北地方の太平洋側では、夏季にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風の影響により、気温が上がらず稲などの作物の生育が妨げられる現象が起こることがあります。この風の名称と、この気象災害による被害を抑えるために農業試験場などで長年行われてきた取り組みの組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. やませ — 低温でも育ちやすい稲の品種改良

2. からっ風 — 防砂林の設置による土壌流出の防止

3. 季節風（モンスーン） — 温室を利用した促成栽培

4. フェーン — かんがい施設の整備による干害対策
- 問11 岩手県東部の三陸海岸南部に見られる、海岸線が複雑に入り組んだ「リアス海岸」と呼ばれる地形が、この地域の産業や生活に与えている影響として正しいものはどれですか。 （2023年 静岡県公立入試 類似）
1. 内陸の盛岡市から奥羽山脈を越えずぐに海岸へ到達できるため、内陸の工業製品を輸出するための巨大なコンテナターミナルが各地に整備されている。

2. 平坦な土地が海岸線まで広く続いているため、大規模な機械化農業が行われ、東北地方最大の穀倉地帯となっている。

3. 波が穏やかな深い入り江が多いため、古くからカキやワカメなどの養殖業や、天然の良港を利用した漁業が盛んに行われている。

4. 山地が海に迫り平地が少ないものの、海岸線が直線的で水深が浅いため、大規模な埋め立てによる重化学工業地帯の形成に適している。
- 問12 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側沿岸部から内陸部に向かって、オホーツク海から冷たい風が継続して吹き込む気象条件が続いた場合、現地の農業に与える影響として最も適切な説明はどれですか。 （2024年 新潟県公立入試 類似）
1. 暖かい湿った空気が供給されることで、熱帯夜が続き農作物の品質が向上する。

2. 気温が大幅に上昇し、乾燥した風によって農作物の水分が奪われる。

3. 山脈を越えて乾いた風が吹き降りることで、日本海側で干ばつの被害が広がる。

4. 日照時間が不足し、冷涼な気候によって稲の生長が妨げられる冷害が発生する。